

ご自宅での陶板浴 E

陶板浴 E シリーズの開発に伴い、今後増えるであろうご自宅でのエネルギーサークルを使った陶板浴での治療例をご紹介します。

エネルギーサークルは、16枚のエネルギーシールを2重の円形に配置すれば OK です。

とても簡単ですのでどなたにも設置できますし、使わないときには簡単に収納できます。

患者さんは膵臓に癌が見つかったときには、既に手術ができない状態でした。

抗がん剤、放射線療法を受けられた後、現在は自宅で陶板浴を続けておられるようです。

そんなタイミングでメールを頂きました。遠方のため受診できそうにないがエネルギーサークルを使ってみたいと言われます。

そこで、両手の写真をメールに添付して頂き、O-リングテストを行いました。

癌はほとんど膵臓の中央に位置しており、大動脈の真上にあります。このような位置のため、手術出来なかったと思われます。

更に、膵臓の周囲のリンパ節にも転移が認められます。テロメアは400ng、癌の周波数は162Hz でした。

早速、エネルギーサークルセットをお送りし、陶板浴 E による治療が始まりました。

開始直後にオーラと肉体の両方のレベルでの O-リングテストが必要だと判明しましたので、両方の測定を行っています。

治療スケジュールは、1日3回 3 から 4 時間間隔で陶板浴 E による治療(10 分-5 分-5 分)、45°Cで開始することになりました。

両手の写真をお送り頂きながら、治療効果の判定していきます。

やはり予測通り、オーラのレベルでの周波数は比較的速やかに減っています。

一方、肉体レベルでの周波数はゆっくりとした下がり具合です。

4・5回目から周波数の下がりが悪くなりましたので、6回目からは治療時間を15分-7分-7分に増やしています。

このように、遠方の方でも手の写真によるOリングテストを併用することで、当院においで頂いた状態にできるだけ近づけたいと思います。

8回目辺りから下がり鈍くなってきたので、20分-10分-10分のパターンに変更しようとしたところ、周波数が下がりました。

で、今のところ最適な時間は決められずにいます。

1/7 ここでうれしい知らせが・・・今回のCTの結果、10月時点よりも膵臓ガンが小さくなっているとのことです。

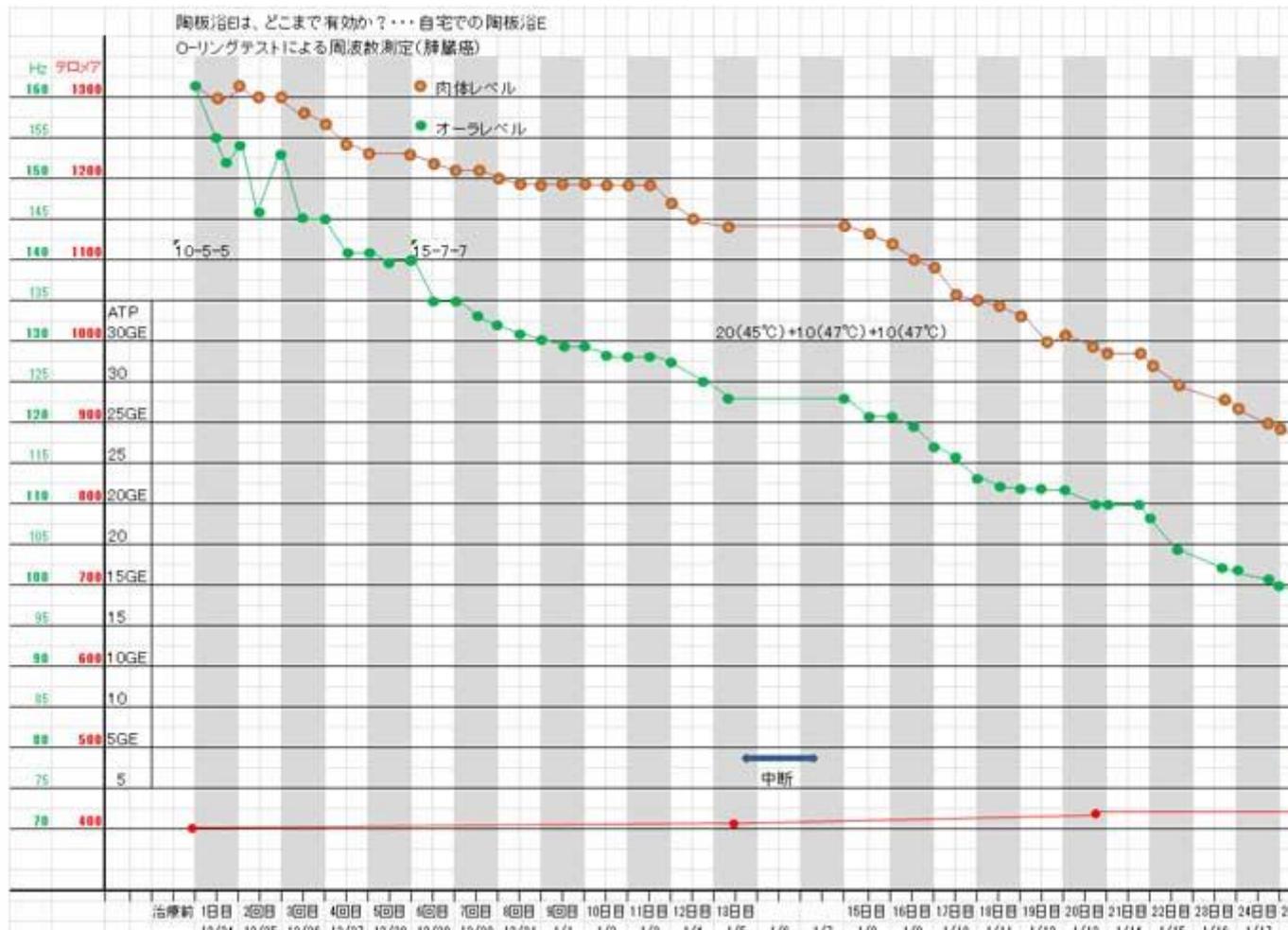
治療の第1目標は「ガンとの共存」ですが、やはり少しでも小さくなって欲しいものです。1/5のテロメア測定しました。

410と少し増えています。帰られた時点での周波数などが気になるところです。

1/12 中断後も順調に周波数が下がっています。特に目を引くのは肉体レベルの周波数の下がり具合です。

20分(45℃)-10分(47℃)-10分(47℃)のパターンがうまくいっているようです。

1/20 方式を一新した波動転写水とバッチレメディ(これまでと変わらず)を作成しました。



1/25 1/23より波動転写水を50ml、朝夕飲まれています。それを契機に周波数は肉体レベル、オーラレベルともに下がり始めました。

テロメアは、抗がん剤の動脈注射の影響か依然400のままです。

2/1 周波数はほとんど理想値に近づいています。テロメアも410と少し戻り始めていますが、今日から再び抗がん剤というところで

少し心配です。

2/5 抗がん剤の動注から戻られました。テロメアはなんと230まで低下しています。恐るべし抗がん剤……

癌をたたくのは良いのですが、体力を根こそぎ持って行かれそうで恐ろしい！！

波動転写水をお届けしたのが1/23です。ところがその後の急速な展開で波動転写水はすっかり様変わりしました。

そこで急遽、残りの3本を送り返して頂き、波動増幅チップのフルコースでバージョンアップして発送しました。

ちょっと時間が遅かったので明日届くか心配です。

陶板浴は、どこまで有効か？・・・自宅での陶板浴E

オーリングテストによる周波数測定(膵臓癌)

